

**大学のガバナンス改革の推進について  
(審議まとめ) の概要 (案)**

## 大学のガバナンス改革の推進について(概要)(案)

- 「知識基盤社会」の到来、ICTの普及、急速なグローバル化の進展をはじめとする社会環境の急激な変化
- グローバル人材の育成、イノベーションの創出、経済再生、地域再生・活性化等、大学に対する社会からの期待の高まり

各大学が、国内・国外の大学間で競い合いながら人材育成・イノベーションの拠点として、教育研究機能を最大限に発揮していくためには、学長のリーダーシップの下で、戦略的に大学をマネジメントできるガバナンス体制が不可欠。

- ◇ 各大学は、主体的・自律的にガバナンス体制の総点検・見直しを行い、教育・研究・社会貢献の機能を最大化。
- ◇ 国は、学長のリーダーシップの確立と教職員の意識改革のため、効果的な制度改正とメリハリある支援を実施。
- ◇ 社会は、大学と積極的に関わり、学長のリーダーシップを後押し。

### 1. 学長のリーダーシップの確立

- [学長補佐体制の強化]** 総括副学長の設置、高度専門職の創設、SD・IRの強化、大学運営会議等の活用  
**[人事]** ポストの再配置、選考の適正性の確保、業績評価に応じた給与制度  
**[予算]** 学長のビジョンに沿ったメリハリある予算編成・配分、学長裁量経費の確保  
**[組織再編]** ぶれない改革方針と客観的データによる説明を通じて、学長が責任を持って改革を推進

### 2. 学長の選考・業績評価

- ◆ 選考組織が主体性を持つ  
て大学のミッション、求められる学長像を示し、候補者のビジョンを確認して決定  
◆ 安定的な運営ができる学長任期の設定  
◆ 学長選考組織や監事による学長の業績評価、不適格者の解任

### 3. 学部長等の選考・業績評価

- 業績評価**  
◆ 学長のビジョンを共有できる学部長等の任命  
◆ 学長による学部長等の業績評価

### 4. 教授会の役割の明確化

- ◆ 教育課程編成、学生の身分、学位授与、教員の教育研究業績審査等を審議  
◆ 設置単位の再点検  
◆ 審議事項の透明化

### 5. 監事の役割の強化

- ◆ ガバナンスの監査  
◆ 監事の常勤化を推進

大学

### ＜国公私立共通の支援＞

- ☆ 制度改正を通じた支援(所要の法令改正)
- ☆ 予算を通じた支援(学長裁量経費の拡充、ガバナンス改革の支援、補助事業の要件化)
- ☆ 評価、監査、大学団体等との協力 (副学長、高度専門職) 等

### ＜国立大学法人への支援＞

- ☆ 国立大学改革プランの確実な実施(ミッションの再定義、改革構想(組織再編、資源再配分)への重点支援、年俸制等の導入等)
- ☆ 第3期中期目標・中期計画においてガバナンスにつき明記
  - 監事機能の強化
  - 経営協議会の構成の見直し 等

学長のビジョンへの理解、物心両面からの支援

社会